プレスリリース

2026 年 11 月 17 日

報道関係者各位

株式会社ミマキエンジニアリング
（コード番号：6638 東証プライム）

「もっと鮮やかに。もっとリアルに。」
進化した色表現力で、フルカラー3D プリントの用途を拡大
UV 硬化インクジェット方式フルカラー3D プリンタ「3DUJ-553MkII」を発表
独・Formnext 2026 で世界初公開

株式会社ミマキエンジニアリング（本社／長野県東御市、代表取締役社長／池田 和明）は、フルカラー3D プリンタの新製品「3DUJ-553MkII」を発表します。

本製品は、従来機「3DUJ-553」の最大の特長である「1,000 万色以上の色表現」をさらに進化させ、より鮮やかな色彩と深みのある濃色を表現できるようになりました。また、新開発のインフィルインク（造形物の内部形成に使用する低コストの専用インク）を採用し、造形物のインクコストを低減します。さらに、装置の稼働効率を向上させる新機能を搭載しました。表現力、コストパフォーマンス、生産性を高め、フルカラー3D プリントの活用領域をこれまで以上に広げます。

発売に先立ち、11 月 17 日より開催される Formnext 2026（ドイツ・フランクフルト）にて世界初公開します。

もっと鮮やかに。もっとリアルに。フルカラー3D プリントの活用範囲が広がる。

今回発表する 3DUJ-553MkII は、カラー制御にさらに磨きをかけ、色の表現領域を約 1.4 倍（従来機比[*1]）に拡大しました。鮮やかな色彩と深みのある濃色を表現できるようになり、ブランドカラーやキャラクター固有の色など、色の再現性が重視されるデザインにも対応します（図 1）。また、木目、皮革調、カーボン柄、大理石調など、素材ごとの色合いや模様をリアルに描きます（図 2）。

この色表現力により、キャラクターの細部にこだわったフィギュアやグッズなど、より高い色再現性が求められる商品制作での活用が広がります。さらに、製品モックアップ[*2]では、形状や色だけでなく表面の素材感まで繊細に表現でき、製品の仕上がりをより具体的に確認できます。製品開発時のデザイン検証に加え、社内でのデザインレビューや顧客へのプレゼンテーションなど、量産前に完成イメージを共有するさまざまな場面で役立ちます。

*1 当社指定条件における色域体積の比較

*2 製品の完成イメージを確認するための試作品

図 1 色彩表現の例
（フィギュア）



図 2 リアルな表面模様の例
（製品モックアップ）

さまざまな素材の色合い・模様を再現



素材感を表現したモックアップが作れる



インクコストを抑え、大型造形物を商品化しやすく。

本製品では、新開発のインフィルインクを採用しました。インフィルインクは、造形物の内部を充填・形成するための低コストインクです。従来機では内部にもカラーインクを使用していましたが、インフィルインクに置き換えることで、外観のフルカラー表現を維持しながら、造形にかかるコストを低減します。特に、内部充填部分の体積が大きい造形物ほど、その効果が期待できます。

これにより、3DUJ-553MkII の広い造形エリアを活かし、大型模型やフィギュア、アート作品、インテリア装飾品など、これまでコスト面が課題となっていた造形物の商品化を後押しします（図 3）。また、必要なときに必要な数だけ制作できる 3D プリントの特長を活かし、在庫負担を抑えた商品展開を可能にするとともに、多様な顧客ニーズにも柔軟に対応できます。

図 3 大型造形物の例

フィギュア　　アート作品　　インテリア装飾



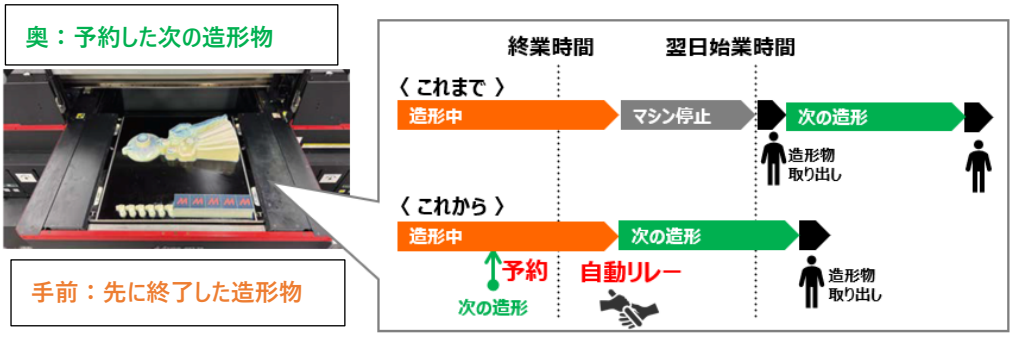
次の造形を自動で開始。装置の稼働効率を向上。

従来機では、一つの造形が終了するたびに、作業者による次の出力操作が必要でした。そのため、作業者が不在の時間帯には次の出力を開始できず、装置が待機するケースもありました。

3DUJ-553MkII では、「スマートリレー」機能を新たに搭載しました。次のジョブをあらかじめ予約しておくことで、現在の造形終了後、テーブル奥側の空きスペースを活用して、自動的に次の造形を開始します*3（図 4）。これにより、作業者が造形終了に合わせて次の出力操作を行う必要がなくなり、夜間などの営業時間外を含めて装置を効率的に稼働させられます。装置の待機時間を減らして生産性を高めるとともに、作業者の負担軽減にも貢献します。

*3 造形できるサイズは空きスペースの面積により異なります

図 4 スマートリレー機能による装置の稼働効率の違い



フルカラー3D プリントによる新たなビジネスの創出へ

3DUJ-553MkII は 2027 年春の販売開始を予定しています。

近年、3D プリントを取り巻く制作環境やデザインソフトウェアに加え、生成 AI をはじめとする 3D データ生成技術も進化しており、3D プリントの活用領域は今後さらに広がることが期待されます。

当社は、本年 8 月にウェブサービスとして提供を開始した 3D データ修正ソフト「Mimaki 3D Print prep Pro ver2」をはじめ、3D データの準備から造形まで支援するソリューションを通じて、3D プリント市場のさらなる普及に取り組んでいます。

3DUJ-553MkII では、フルカラー3D プリントの表現力、コストパフォーマンス、生産性を向上させることで、これまで以上に幅広い用途で活用いただき、お客様の新たな 3D プリントビジネスの創出に貢献してまいります。

株式会社ミマキエンジニアリングについて

ミマキエンジニアリングは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3D プリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクツ、テキスタイル・アパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、お客様に常に「新しさと違い」をお届けするイノベーターを目指しています。

企業・IR 情報： https://ir.mimaki.com/

製品情報： https://japan.mimaki.com/

お問い合わせ先

◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング

営業本部グローバルマーケティング部

インサイドセールスグループ

長野県東御市滋野乙 1628 - 1

TEL：0268-80-0078 / FAX：0268-80-0041

MAIL: press@mimaki.com

◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームより

お問い合わせください。

https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/